



教えてイイトコ

宇都宮

市外からやってきた人たちに
宇都宮のイイトコを聞きました。

餃子専門店を営む江小湊さん

(寿限無餃子工房・今泉3丁目)



◀江さんの店で出している「寿限無餃子」。餃子の形は、元々船の形に由来しているとされ、中国では縁起の良いものとしてお正月に食べることが多いそうです。



◀店を訪れるお客さんと江さん。「宇都宮に居続けたいと思えるのは、地元の人たちの人柄の良さとのつながりがあってこそ」。

15年ほど前に中国から日本にやってきました。宇都宮に住むことになったのは留学がきっかけでしたが、その後、たくさんの友人ができて多くの人に支えられ、今では他の街で生活するのが考えられないくらい大好きな街です。

2006年から居酒屋を経営していますが、昨年、新たに餃子専門店をオープンしました。宇都宮の餃子は、ブランド力もしっかりしていて素晴らしいものだと感じます。私の店の餃子は、私が子どものころ中国で食べていたものと、宇都宮で100店舗以上を食べ歩いて学んだものが融合してできた唯一無二の餃子です。宇都宮餃子会の加盟店として、特に品質の高い商品づくりを心掛け、皮は手作り、具材は無添加にこだわりました。

最近、中国の友人たちに宇都宮の素晴らしさを伝えて呼び込んだり、後輩の開業を支援したりと、宇都宮を盛り上げたいと思い活動しています。これからも人とのつながりを大切にして、宇都宮の皆さんに恩返しをしていきたいです。宇都宮と中国の文化の架け橋になりたいですね。

◎江さんは、4月8日(金)正午～午後0時49分エフエム栃木「宇都宮プライド 愉快なラジオ」、4月10日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイイトコ宇都宮」(再放送)に出演します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

乗ってみよう 地域内交通

今回は、地域組織が運営主体となり運行している地域内交通のうち、上河内地区のデマンド型乗り合いタクシー「かみかわち愛のリユッピー号」について紹介します。

■「かみかわち愛のリユッピー号」の導入に至るまで 上河内地区では民間バス路線の廃止に伴う代替バスとして、「ユッピー号」が運行していましたが、地域にとってよりふさわしい公共交通とするため、平成22年から地域でアンケート調査や住民説明会を実施しながら、検討をしてきました。その結果、新たな公共交通として、平成25年10月から朝夕の通勤や通学に対応した定時定路方式による「上河内地域路線バス」と、買い物や通院などの日中の移動ニーズに対応したデマンド方式による「かみかわち愛のリユッピー号」の運行を開始しました。

■地域の生活に合わせた運行 運行に当たっては、上河内地区全域に加え、JR氏家駅周辺や富屋地区などにも目的施設を設定し、通院や買い物などの日常の移動手段を確保する他、JR氏家駅や主要バス路線に接続することで、中心市街地など地域外への移動にも対応しています。

かみかわち愛のリユッピー号

▽運営主体 上河内地域内交通運営協議会。

▽運行日 月～土曜日(祝休日、年末年始除く)。

▽運行エリア 上河内地区全域、JR氏家駅周辺、富屋地区の一部など。

▽運行便数 1日10便(午前8時発～午後5時発)。

▽利用料金 1回300円(小学生半額、未就学児無料)。

▽利用対象者 上河内地区エリアの住民。

▽その他 利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。また、上河内地域自治センター☎(674)3140へ。



▲かみかわち愛のリユッピー号の車両

また、上河内地域路線バスの済生会病院線との乗り継ぎ割引を実施することで、バスとの乗り継ぎ負担の軽減や利便性の向上を図っています。

「かみかわち愛のリユッピー号」は、できるだけ多くの人に利用してもらえるよう、地域でも定期的な広報紙の発刊や地域行事でのPR活動を行うとともに、目的施設である「梵天の湯」と連携して、利用回数に応じて施設利用が無料になるポイントカード制度を導入するなど、利用促進にも積極的に取り組んでいます。

このような取り組みにより、運行開始以降、利用者数は着実に増加し、地域住民にとって身近で不可欠な公共交通として親しまれています。

上河内地域内交通運営協議会会長 川津 昭夫さん

平成25年10月から試験運行を開始し、平成27年6月には利用者が延べ1万人を超えるなど、毎月約550人に利用され地域住民にとってはなくてはならない移動手段となっています。今後とも利用者、登録者の増加を図るために、皆さんの声を大切に、さらに身近な公共交通として親しまれるように頑張っていきます。



利用者の神山さん

普段は自動車を運転していますが、JR氏家駅を利用するときや、地域内での飲み会などの際に「愛のリユッピー号」を利用しています。いずれも安心して出掛けられるので大変助かっています。自宅から直接目的地に行けることは大変便利です。これからも大いに利用していきたいと思っています。

◎交通政策課☎(632)2133

◎保育施設内での不適切な処遇に気付いた場合はご連絡ください 専用ダイヤルを開設 本市では、市民の皆さんが安全安心に保育施設に子どもを預けられるように、これまで以上に保育環境の充実・向上に取り組むため、専用ダイヤルを開設しました。保育施設内での不適切な処遇に気付いた場合は、子ども未来課専用ダイヤル☎(632)5207へ。